

意見番号	意見の概要	八王子市教育委員会の考え方
基本施策1 生涯にわたる多様なスポーツの推進 21件		
(1) 子どものスポーツ推進		
1	パラスポーツを定期的に実施している事業の情報を発信してほしい。	市が行うイベント情報等のほか、各団体が行うスポーツイベント情報や会員募集情報などを発信します。パラスポーツを定期的に実施している事業の情報についても、収集・発信していきます。
2	オリンピックによる教室で競技の普及・啓発を図ってほしい。	多様なスポーツプログラムを指定管理者や各団体等と連携して実施し、子どもたちの運動機会を創出します。オリンピックによる教室についても継続的に実施できるよう取組を進めていきます。
3	ドッジボールなどのボール遊びができる場所がほしい。	大学・特別支援学校等の運動施設利用の協力を得ながら、スポーツをする場を確保していきます。 また、身近な場所である公園について、市では用地の取得が難しいことから、新たな公園の整備は難しい状況ですが、公園の規模や施設の設置状況、近隣住民の方々の意見などを鑑み、近隣の方々の生活環境に配慮しながら少しでもボール遊びができる公園を増やしていけるよう検討を進めます。
(2) 部活動改革による子どもの選択肢の拡大		
4	体育で行う科目を増やした方がいい。	体育科の授業で扱う種目等については、学習指導要領の趣旨や内容を踏まえて、各学校で決定しています。体育の授業や学校部活動以外でも子どもたちが継続してスポーツに親しめる環境の整備や、体験教室・イベントを実施し、子どもたちの運動機会を創出していきます。
5	各楽器ごとに指導者を派遣してほしい。	地域の団体との連携をはかり、協力を得られるよう働きかけていくとともに、引き続き専門的な指導ができる指導者の確保に努めます。ただし、各学校に配置できる指導者数には予算の都合上限界があります。限られた予算の中で、より効果的な指導者の配置を検討してまいります。
6	チームみんなで協力する。	引き続き学校部活動以外でも子どもたちが継続してスポーツに親しめる環境の整備や、体験教室・イベントを実施します。
7	部活動としての意味があるので、部活動を失くさないでほしい。	八王子市の部活動改革では、子どもたちの活動機会の確保のために、中学校の部活動はなくしません。ただし、全校で全種目の部活動の開設はせず、子どもたちは自分の地域の中学校に通い、やりたい種目を近隣の学校から選んで参加できるようにしていきます。
8	平日の夕方ごろに子どもたちがスポーツをできる環境が整っていない。子どもたちの活動機会の確保のため、体制づくりを行ってほしい。	市内のスポーツ団体等と連携し、子どもたちが参加可能な団体情報を収集・公開するなど、学校部活動以外でも子どもたちが継続してスポーツに親しめる環境の整備や、体験教室・イベントを実施します。 また、八王子市の部活動改革では、子どもたちの活動機会の確保のために、中学校の部活動はなくしません。ただし、全校で全種目の部活動の開設はせず、子どもたちは自分の地域の中学校に通い、やりたい種目を近隣の学校から選んで参加できるようにしていきます。
9	3年間同じ部活動に限らなくてよいのではないかな。	各学校は、部活動のルールを定めていますが、今後は「子どもたちが生涯にわたってスポーツや文化・芸術活動に親しめるようにする」という部活動改革の趣旨から、3年間同じ部活動に所属しないケースも出てくるのが考えられます。
10	1つの部活動だけでなく、複数の部活動に所属してもよいのではないかな。	各学校は、兼部の扱いも含めた部活動のルールを定めています。市教育委員会としては、「子どもたちが生涯にわたってスポーツや文化・芸術活動に親しめるようにする」という部活動改革の趣旨を踏まえ、複数の部活動に所属することも良いということをご各学校に伝えていきます。
11	部活動指導員や補助員の申請書式等を統一し、開示するとしているがいつまでに開示されるのか。	各学校がスポーツ団体に部活動指導補助員の派遣依頼を行う手続きについては、既に学校と地域団体へお示ししております。
12	大学生が中学部活動に協力した場合、単位取得に有利になる仕組みを考えてほしい。	スポーツ活動を支える人材の確保・育成において、学園都市である本市における大学生の存在は大きく、大学生が中学部活動の指導員として参加しやすい取組を検討します。
13	部活動が地域クラブへ移行されることで保護者の金銭的負担が増えると思うので補助すべきと考える。	現状、地域クラブへ参加する際の費用は受益者負担とすることを考えています。経済的に地域クラブへの参加が難しい生徒の活動機会の確保のために、本市では学校部活動はなくしません。また、他校の部活動に参加できる拠点校部活動の制度もあります。
(3) 高齢者のスポーツ推進		
14	高齢者の楽しみが増えるので、高齢者のスポーツ推進に賛成する。	引き続き、高齢者の健康づくりや健康寿命の延伸、喜び・生きがいにつながるよう、健康体操教室やウォーキングなどの取組を進めていきます。
15	高齢者が自分に見合ったスポーツを見つけることができるような取組を行ってほしい。	各団体が行うスポーツイベント情報や会員募集情報などを発信します。その際、テコボとの連携により、高齢者が自分に合ったスポーツ等を見つけ、スポーツを通じた仲間づくりや喜び・生きがいにつながるよう、情報発信していきます。
16	学校部活動の時間に指導者として活動できる人は少ないと思うので、曜日や時間をどう設定するかが大事だと思う。	講師・指導者情報をホームページ等で公開するなど、高齢者が指導者として活動できる場・機会を確保します。
17	高齢者のスポーツ団体を創設する支援をしてほしい。	スポーツを通じた仲間づくりや喜び・生きがいにつながるよう、各団体が行うスポーツイベント情報や会員募集情報などを発信し、団体の創設を支援していきます。
(4) 共生社会の実現に向けたスポーツ推進		
18	障害のある人もスポーツをやりたいので、共生社会の実現に向けたスポーツ推進に賛成する。	引き続き市民の誰もがスポーツができる環境を目指し、ポッチャの普及をはじめ、共生社会の実現に向けたスポーツ推進に取り組めます。
19	全ての年齢の人達がスポーツができ、活気があふれるので、共生社会の実現に向けたスポーツ推進に賛成する。	引き続き市民の誰もがスポーツができる環境を目指し、ポッチャの普及をはじめ、共生社会の実現に向けたスポーツ推進に取り組めます。
20	全ての人が平等に大会などに出られる環境になっていくので、共生社会の実現に向けたスポーツ推進に賛成する。	引き続き市民の誰もがスポーツができる環境を目指し、ポッチャの普及をはじめ、共生社会の実現に向けたスポーツ推進に取り組めます。
21	ゲームのような、子どもから高齢者まで様々な人楽しめるスポーツをやりたい。	スポーツへの関心喚起、フレイル予防といった身体活動を伴う競技スポーツと一部同様の効果が期待されていることから、インクルーシブスポーツとしてのeスポーツの効果検証を行います。

意見番号	意見の概要	八王子市教育委員会の考え方
基本施策2 スポーツができる環境の整備 16件		
(1) スポーツ施設の適切な整備・維持管理		
22	日本にスポーツの学校を増やしてほしい	体育科の授業で扱う種目等については、学習指導要領の趣旨や内容を踏まえて、各学校で決定しています。また、体育の授業や学校部活動以外でも子どもたちが継続してスポーツに親しめる環境の整備や、体験教室・イベントを実施し、子どもたちの運動機会を創出していきます。
23	地域の住民用の体育館を新設したらどうか	身近なところで気軽にスポーツに親しむことができる場の確保が重要であり、既存のスポーツ施設を継続的且つ安全に利用しつつ、大学・特別支援学校等の運動施設利用の協力を得るなど、場の確保・充実に努めます。
24	拓真高校のテニスコートを利用したい	拓真高校を含む市内の一部の都立高等学校は、団体登録、申請をすることでテニスコートやグラウンドを利用できます。詳しくは直接学校へお問い合わせください。
25	ボールが使用できる公園をもっと増やしてほしい	公園におけるボール遊びについては、ボール使用ができる公園を増やしてほしいというご意見がある一方、夜間のボール使用による騒音やボールによる個人宅の施設の損傷など、ボールを使用する側のマナーの悪さなどにより、ボール遊びを禁止してほしいという意見もあります。
26	ボールなどが使える公園も欲しいです。キャッチボールや、野球や、サッカーなどができたほうがみんな楽しいと思います。	公園の規模や施設の設置状況、近隣住民の方々の意見などを鑑み、近隣の方々の生活環境に配慮しながら少しでもボール遊びができる公園を増やしていけるよう検討を進めます。
27	遊具を入れる公園も少なくなって来ているので空いている土地があったらそこを公園など運動ができる場所として活用して欲しいです。	既存のスポーツ施設を継続的且つ安全に利用できるよう、適切なマネジメントを実施しつつ、大学・特別支援学校等の運動施設利用の協力を得るなど、場の確保・充実に努めます。また、公園について、市では用地の取得が難しいことから、新たな公園の整備は難しい状況ですが、老朽化した施設の更新時期などに合わせて、必要に応じてスポーツ施設や遊具などの新設を行っています。その際、公園の位置や規模、周辺の状況、および近隣住民の方々の意見などを鑑み、整備する施設の内容を検討しています。無料の施設や自動販売機については、受益者負担の考え方にに基づきサービスを受ける人が適切にその代金を支払う必要があると考えます。
28	大人も子どもも楽しく遊べる遊具やスポーツ施設などがほしい。例えば、誰でも参加できるスポーツがあったり、無料で遊べる家族で楽しくできるスポーツゲームなどがあるといいと思います。それと、公園などの遊具なども子どもが遊べるように人気なブランコを用意したり大人の方々ができる健康器具などがあるとみんなが楽しめると思います。さらに、家族で遊べるように広いグラウンドなどがあるといいと思います。	
29	最近の野球グラウンドなどは、有料で入りにく人もいると思うので、無料であるところがあるとみんな入りやすくみんながスポーツをできると思います。	
30	アスレチックなども公園などにほしいです！	
31	高齢者も大人も子どもも気軽に楽しく遊んだり運動できそうな所を公園の空いているところに作ったり、誰でも行けそうなスポーツ施設を近くに作ってほしい。	
32	ちっちゃい子でも安全に楽しく遊べるように公園のあいてるところに普通の遊具とは別にちいさめの遊具を作ってほしい。	
33	中学生とか高校生とかが部活がないときとかに運動ができそうな広めの運動場を作ってバドミントンとかサッカーとか野球とかができそうな所を作ってほしい。	
34	みんなが楽しくできるスポーツ施設や楽しく遊べる公園・ショッピングセンターなどが八王子にほしい。理由は八王子にはあまりスポーツ施設もショッピングセンターなどもあまりないし、近くで便利に楽しくなる施設がほしいから。制限時間無しであまりお金がかからないスポーツジムにしてほしい。	
35	小さな子供・赤ちゃんでも楽しめる安全で小さな遊具がある公園もほしい。公園はなるべく広くして、遊具もたくさんにしていっぱい遊べる環境にしてほしい。それと公園には無料の自動販売機がほしい。	
(2) 学校体育施設の有効活用		
36	体育館で練習ができるので、学校体育施設の有効活用に賛成する。	本計画に基づき、活用されていない学校体育施設を最大限活用できるルール等を検討し、学校体育施設の有効活用に向けた取組を推進します。
37	家族との交流としても体育館を使用したいので、学校体育施設の有効活用に賛成する。	本計画に基づき、活用されていない学校体育施設を最大限活用できるルール等を検討し、学校体育施設の有効活用に向けた取組を推進します。

意見 番号	意見の概要	八王子市教育委員会の考え方
基本施策3 スポーツによる地域の活性化・魅力発信 11件		
(1) 総合型地域スポーツクラブの支援		
38	市の小学校のみんなで運動会をしたい。	運動会については、各学校が計画・実施しています。地区運動会と学校運動会の連携を促進するなど、地域の魅力を伝える取組を推進します。
39	他の学校と一緒に運動会をやりたい。	運動会については、各学校が計画・実施しています。地区運動会と学校運動会の連携を促進するなど、地域の魅力を伝える取組を推進します。
40	学年ごとで球技大会や運動会がしたい。	球技大会や運動会については、各学校が計画・実施しています。地区運動会と学校運動会の連携を促進するなど、地域の魅力を伝える取組を推進します。
(2) スポーツ関係団体の支援と連携		
41	市内の各地に満遍なく団体等があるといい。	多くの市民が地域でスポーツ活動が実施できるよう、様々な既存団体と受け入れ体制の整備を進めます。
42	八王子市が東京八王子ビートレインズを応援していることを初めて知った。	引き続き競技に対する興味関心の向上や市民の誇りや愛着の醸成に繋がるよう、東京八王子ビートレインズや本市で活動するアスリート、本市ゆかりのアスリートの活動を応援します。
43	地域スポーツクラブと協力することで能力が上がると思った。	引き続きスポーツ関係団体と連携し、各種大会や教室等のスポーツイベントを開催します。
44	楽しむ。	誰もが自分に合ったスポーツの楽しみ方を見つけ、スポーツが充実した生活の一部として定着し、生涯を通じてスポーツに親しめるよう各施策を着実に進めていきます。
(3) 地域スポーツを支える人材の確保・育成		
45	指導資格を所有している人はいるので、幅広く募集できないか。	講師・指導者情報をホームページ等で公開するなど、活動できる場・機会を確保します。
(4) スポーツMICEの推進		
46	レベルの高いプレー観ることで興味・関心を持つ人が増えると思った。	本市で開催される大規模スポーツ大会等を誘致、支援し、観る機会を創出します。
(5) スポーツ情報の収集・発信		
47	スマートフォンを持っていない場合はどうやって情報を得るのか。	情報通信技術（ICT）に不慣れな方にも配慮した情報発信を行うことが重要であると考えており、広報はちおうじを中心に、適切な情報媒体を選定していきます。
48	八王子市がSNSを使用して広報していることを初めて知った。	引き続きすべての市民が情報を活用してスポーツに親しむことができるよう、市民のニーズに合った情報を届ける取組を推進するとともに、事業の対象や規模等に応じて適切な情報媒体を選定していきます。